



ベーカリーの開拓

神戸大学 経済経営研究所

教授 榎本 正博

数少ない趣味のひとつがベーカリーを開拓することである。事前に食べログなどで評判を確認して行く。守備範囲は御影・六甲の周辺なのでそんなに広くないけれど、新店の誕生を心待ちにして訪れたりする¹。出張に行けばホテルか用務先の近くでパンを買うこともある。よくできたものでネット上の評判を信用して開拓していれば、期待を外すことはほとんどない²。おそらく商圈が広くなく地元のパン好きが書き込んでいるからであろう。

以前海外留学のチャンスをもって滞在していたホノルルでは、この方法がうまくいかなかった。ホノルルは90万ほどの人口なのでそれほど店は多くない。現地のおいしいパンを制覇するべくもちろんネット上の評判はチェックする。しかし世界的観光都市とあって、英語のコメントはどうも地元の人だけではなさそうで、誰が書いているのかよくわからない。観光客か地元の人か?もっとも味の好みも違うだろう。住んでいた場所からハワイ大学までバスで通っていたので、バス停ごとに途中下車をして1軒ずつ訪れることにした。

1ヶ月かけて何軒も行ったが、ネットでは評判がいいものの店ごとにパンに当たり外れが多くて、同じ店に行く気がしないことが多かった。原因のひとつは見た目から味が予想できないことである。日本であればだいたいわかるし、説明が書いてある店も多く、日本語でどんな味か聞けばよい。しかし、私の英語力で店員に聞くのは躊躇する³。聞いても返答が理解できないし。だから見た目ですらに買うよりしょうがない。これでは好み合わない味にあたるのは当然であったように思う。

バスの通りで1軒だけよく通ったのが、大学を少し過ぎたところにあるフランス人ブーランジェのいるベーカリーである。スコーン、特にマンゴースコーンがおいしかった。家族にも好評で行く度にマンゴースコーンを十数個買い占めていた。マンゴースコーンは神戸

¹ アルバイトの求人情報で新店がわかることがある。

² おいしいベーカリーよりもネットで評判の店に行きたいだけなのかもしれない。

³ パン系の難関はSUBWAY(サンドイッチ)だった。パンの種類、長さ、焼くかどうか、野菜、ドレッシング等いろんなことを英語で聞いてくるので最初はとんでもない時間がかかった上に意思に反するサンドイッチを食べた。しかしサンドイッチが好きだから我慢して1週間連続で通うと、なんとか思い通りの品が出てくるようになった。

で見ないので、いますぐでも欲しい⁴。あと有名なマラサダの店があって、いつも多くの人
が並んでいて味も文句なかった。

次はバス通り作戦を捨てチェーン店に的を絞った。標準的なレベル以上であるからチェー
ンになる。まずは地元で何軒かあるベーカリーにした。ネットの評判では地元民にも観光
客にも大人気で、英語でも日本語でも評判がよさそうである。店も広く沢山の種類のパン
があってお客さんにあふれていた。つたない英語で何種類も注文して帰ってきた。しかし
おすすめのもの、塩味のパンの中に甘いクリームが入っていて上にさらに甘いチョコが
かけてあって複雑な味がした。慣れればおいしいのかもしれないと続けて食べても無理だ
った。いい味のパンもあったが、種類が多すぎて好みのパンを選ぶのに時間がかかりそう
でそれほど行かなかった。

そのうちニューヨークからやってきた店が近所のアラモアナ・ショッピングセンターに入
った。一つが大きく食べ応えがある。これは甘くおいしかった。ただ甘いので気になって
カロリーをウェブサイトでチェックすると 900 キロカロリーくらいあり、以後の購入を泣
く泣く断念した。

次はカリフォルニア発の台湾ベーカリーに行った。ここは見た目と味が一致する。丁寧に
説明があって味もわかるので頻繁に通い、台湾銘菓パイナップルケーキも一緒に買ってよ
く食べた。なお昨年、一昨年と台北に行く機会があったので、そのたびにホテル近くのベ
ーカリーをチェックしたがこの店とはまるで雰囲気違って、本物？は日本のベーカ
リーのようだった⁵。

これに気をよくしてアジア系のベーカリーを攻める。成功したのはこの方法で、結局味覚
は日本人である⁶。日本からホノルルに出店してパンを売っているイタリア料理店はいい値
段だったように思うがおいしかった。また香港人の経営する日本食レストラン兼パンの店
も満足した。両方とも遠かったのであまり行かなかったけど、近くにあったら通っていた
と思う。最後に帰国する何ヶ月か前に、日本のホテルが家の近くにベーカリーを開業した。
まるで日本のような感じでどのパンもよかった。なかでも人気のゆで卵が入ったカレーパ
ンを皆でよく食べた⁷。帰国後カレーパンを食べるたびに、ゆで卵が入っていたらなああと、
このベーカリーをなつかしく思い出す。

⁴ 私と娘がマンゴー好きで、週末にはダウントウンの中華街に出かけて 10 個くらい買って 1 週間で消費してい
た（主に現地産とメキシコ産があって、1 個約 2-3 ドル）。滞在中で一生分おいしいマンゴーを食べた。あとド
ラゴン・アイというライチのような果物が、さっぱりしていて暑いハワイにぴったりでとても気に入っていた。
生の果物だけでなく冷凍食品も豊富にあつて、果物には随分お金をかけた。

⁵ 訪れた台北のベーカリーは味もよく相当満足した。

⁶ 滞在中後半は外食をするときもアジア系のレストランばかりになった。和食の満足するレベルはとて高価な
ので行けない。ハワイ大学の先生におすすめの和食の店を教えて欲しいとよく質問されたが、セルフうどんし
か行ってなかったので答えられなかった。

⁷ 通りすぎたせいか、売り物の店の名前が入ったバッグを無料でもらった。今でも使っている。

帰国したらすぐに御影のいつものベーカリーに行った。さらに出発前に通っていたベーカリーを何周もしているうちに半年で5キロ以上太ってしまい元に戻るのに大変苦勞した。このコラムを執筆している今日も元町に用事があったので、ついでにネットで調べた近くのベーカリーに立ち寄り、いろいろ店主に聞きながらパンを選んだ。日本語でパンが買える環境は素晴らしい。次に留学できる機会があれば懲りずにベーカリーを開拓しようと思うので、それまでにパンに関連する英語を学んでおきたい。